

「この国にうまれて良かった」と
 思える社会をつくりたい



第27回経済界大賞

フラワー賞

ジャーナリスト

野中ともよ

■プロフィール／東京都生まれ。上智大学大学院文学研究科新聞学専攻修了。米国留学後、フリージャーナリストとして活躍。NHK、民放各局のキャスターとして名を馳せ、2001年日興フィナンシャル・インテリジェンスの理事長を務める。公職多数。

わが敬愛する大河原愛子さん（ジェーシー・フーズネット会長）、奥谷禮子さん（ザ・アール社長）、そして吉永小百合さんという立派な方々と同じ賞をいただけて光栄に思います。

振り返ってみれば、高度経済成長路線を驀進しているころは女のことなんか考えている暇などなかったから、世界一、二の経済大国に成り得たのでしょう。でも今、その反動で社会も家

庭も会社も崩壊しかかっています。家庭をないがしろにし、交際費を使い、出世し、給料が上がったからといって「それがどうした、何のための人生？」と男性に問いたいです。

人と命の大切さを共有し、「この国に生まれて良かった」と思えるような社会をつくるために、「お国のためなら」と民間、公職を問わず、これからも精いっぱい尽くすつもりでいます。